令和6年度 代議員会

事業報告

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

一般財団法人 伊勢神宮崇敬会

一般財団法人伊勢神宮崇敬会

令和5年度事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

本年度は、当会が昭和28年(1953)12月2日に設立認可を受けてから70周年を迎えた。設立理念に立ち返り、我が国を担う次の世代にも神宮や神社、伊勢地方に伝わる風習に親しみ、精神を豊かにしていただけるよう、様々な事業を実施した。

特に、伊勢の春の風物詩として伊勢地域の多くの相撲ファンに親しまれる「神宮奉納大相撲」をはじめ設立当初から開催の新穀の恵みに感謝する「新穀感謝祭」や、令和5年の倭姫宮御鎮座100年を記念して昨年度から実施している倭姫命のご事績を辿る「倭姫命ご巡幸まいり」など、恒例・新規事業を着実にを行い、斯道興隆の一助となるよう努めた。

また、崇敬者及び各関係者との連繋を密にすることはもとより、会員制度を活用し、神宮の魅力を会報誌『みもすそ』やウェブサイト、SNSを通して発信した。

神宮会館の運営では、「参宮の宿」としての原点に立ち返り、お伊勢参りを安心して行っていただけるよう、「内宮早朝参拝案内」を主軸に、伊勢の神宮が持つ歴史や魅力をより多くの宿泊者に理解いただけるよう努めた。

1. 文化及び芸術の振興

① 第66回神宮奉納大相撲

平成31年3月以降4年ぶりの開催となった。公益財団法人日本相撲協会協賛のもと、国技である大相撲の取組を通じ守り伝えられた「心・技・体」の神髄を披露した。八角相撲協会理事長を始め協会役員が両宮特別参拝ののち内宮神楽殿でお神楽を奉納。その後、内宮神苑にて横綱 照ノ富士の土俵入りと、三役力士による揃い踏み奉納し、神宮相撲場ではトーナメント戦等を行った。(4月2日)

内宮神苑手数入り 約500名、神宮相撲場 約2,000名

幕内トーナメント優勝者 ほうしゅうりゅう ともかつ
豊昇龍 智勝

準優勝者 りゅうでん こうし
竜電 剛至

② 神宮125社まいり

本年度で23期目。神宮で正宮・別宮・摂社・末社・所管社としてお祭りされる全てのお社を年5回に分けて参拝し、様々な形で営まれる神宮の神祭りの姿とその心を学んだ。
・各巡拝日程

Aコース(4月13・14日 定員20名) 21名〈4年度18名〉

Bコース(5月22・23日 定員20名) 20名〈4年度18名〉

Cコース(9月26・27日 定員25名) 25名〈4年度19名〉

Dコース(10月26・27日 定員25名) 23名〈4年度18名〉

Eコース(令和6年2月14・15日 定員25名) 27名〈4年度17名〉

非会員は参加不可

③ 倭姫命ご巡幸まいり

令和5年の倭姫宮御鎮座100年を記念して、倭姫命の御事績や教えについて講話を行い、倭姫命がお定めになったと伝えられるお社に参拝し、旧蹟などを巡り、約二千年を遡る神宮の原点に思いを馳せ、崇敬心を深めた。

春コース日程(5月25・26日 定員20名) 20名〈4年度18名〉

秋コース日程(10月18・19日 定員25名) 24名〈4年度18名〉

非会員は参加不可

④ 神宮ばら園の運営

昭和62年10月に開園した神宮ばら園を運営して春と秋に無料開園し、訪れる方々に安らぎの場を提供した。また皇室敬慕の心を育むため皇族のお名前を冠したプリンセス・ローズを育成し公開した。開園期間外にも関心を寄せていただけるよう、コンテンツ配信用プラットフォーム「note」において、開花状況や育成記録等の情報を発信した。

⑤ 小笠原流礼法教室と神宮茶室での呈茶

初日は弓馬術礼法小笠原流三十一世宗家 小笠原清忠氏による礼法教室を行い、二日目に神宮での神楽奉納と神宮茶室（今年度は内宮神楽殿）での呈茶及び神宮茶室庭上拝観を通して敬神の心とともに伝えられた「みやび」や「詫び寂び」の美に触れた。

6月（5月31日・6月1日 定員15名）5名〈4年度7名〉

9月（8月31日・9月1日 定員15名）7名〈4年度7名〉

3月（2月29日・3月1日 定員15名）7名〈4年度8名〉

非会員は参加不可

⑥ 神宮祭典の奉拝

2,000年に亘り営まれているお祭りを間近に奉拝し、そこに受け継がれる神祭りの心を体感した。夜間に行われる6月・12月の月次祭（内宮）と神嘗祭（外宮）の由貴夕大御饌をはじめ、年間恒例のお祭りの奉拝を予定していたが、十二月月次祭奉拝のみ開催した。

六月月次祭（6月16日 定員30名）取止め〈4年度コロナ禍につき取止め〉

十二月月次祭（12月16日 定員30名）25名〈4年度コロナ禍につき取止め〉

非会員は参加不可

⑦ 第46回神恩感謝祭

神宮の六月月次祭に際し会員が伊勢に集い、神宮の広大なるご神恩に感謝の真心を捧げ、会員各位の隆昌を祈念するお神楽を奉納した。初日は、講師に弓馬術礼法小笠原流三十一世宗家嫡男である小笠原清基氏を迎え、「礼の心と形」と題し、講演を行った。翌日は、外宮特別参拝・月読宮参拝・内宮特別参拝の後、神恩感謝のお神楽を奉納した。

（6月18・19日 定員70名）67名〈4年度65名〉

非会員は参加不可

⑧ 夏至まいりと茅の輪作り体験

夏至の日に神宮に参拝し、太陽の恵みのもとに営まれる大いなる自然の力に対する感謝と畏敬の念を深めた。また、古来この季節には夏越の祓いを行い、無病息災を願う風習があり、それに因んだ携帯できる茅の輪作りを体験し、身体健全を祈った。

（6月20・21日 定員20名）16名〈4年度14名〉

非会員は参加不可

⑨ 第5回神宮奉納弓道大会（神宮弓道場創設60周年記念大会）

「一度は、伊勢の神宮弓道場（昭和38年8月竣工）で弓を引いてみたい」という全国の弓人の切望に応え、地元弓道関係者の協力のもと、神宮奉納弓道大会実行委員会（主管）によって開催した。全国から参加を募り、弓道技能の向上と弓友相互の親睦を図った。

（7月7・8日）239名〈4年度138名〉非会員も参加可

⑩ 第52回初穂曳への参加

神嘗祭に合わせて全国からの初穂米を募り、寄せられた懸税・初穂を地元関係者の協力のもと外宮へ奉納した。本年も特別神領民として伊勢の伝統文化行事「お木曳」継承のための「初穂曳」への参加の受入れはなかったが、地元関係団体枠で奉曳依頼を受けたため、本会会員の希望を募り参加した。御初穂を外宮に奉納し、その夜に行われる外宮神嘗祭「由貴夕大御饌の儀」を奉拝した。翌日は内宮特別参拝と御神楽を奉納した。

〔神社本庁協力〕（10月15・16日）36名

〈4年度はコロナ禍の影響で特別神領民の受入れがなかったため本会の募集もなし〉
非会員は参加不可

⑪ **第 69 回伊勢神宮新穀感謝祭**

本年も新穀収穫への感謝の奉告祭を執り行った。併せて農林水産業の振興に貢献された功労者を顕彰し、我が国の農事全般の発展を祈念した。今回の参列者数は、前回より220%の大幅増となり、コロナ禍前の令和元年度参列者数8,744名と比べて7割程度となった。

(11月5日～12月12日) 参列者6,336名・農事関係功労者顕彰20名
〈4年度 参列者 2,884名・農事関係功労者顕彰 21名〉

⑫ **第 62 回伊勢神宮奉納書道展**

毎日新聞社との共催で全国各地から書作品を公募し、内宮饗膳所に於いて展示し、併せて文部科学大臣賞をはじめ優秀作品の受賞者を招待し表彰した。1,400年以上にわたり育まれてきた書道の伝統文化を振興し、書にみる芸術性を喚起した。

(展示期間11月25日～12月4日、表彰式12月2日)
出展 17,812点 展示 566点 〈4年度 出展 18,073点 展示 524点〉

⑬ **令和5年の御礼まいり**

神宮の十二月月次祭に際し一年の締めくくりとして大御神様のご神恩に感謝の真心を捧げ、皇室の弥栄、国家の安泰及び参加者各位の平安・隆昌を祈念するお神楽を奉納した。本年度は、月読宮及び倭姫宮の由貴夕大御饗の儀を奉拝し、併せて月次祭についての講話を行った。

月読宮コース(12月18・19日 定員50名) 36名 〈4年度39名〉
倭姫宮コース(12月24・25日 定員50名) 35名 〈4年度26名〉

非会員は参加不可

⑭ **設立 70 周年記念事業**

昭和28年(1953)12月2日の設立以来70周年を迎えるにあたり、設立70周年を記念し式典を予定していたが、本年1月1日に発生した能登半島地震により多くの方が被災されたことを考慮し記念式典及び祝賀会は自粛することとした。

⑮ **第 67 回神宮奉納大相撲**

公益財団法人日本相撲協会協賛のもと、コロナ感染症が5類に下げられてから初めての開催となった。国技である大相撲の取組を通じ守り伝えられた「心・技・体」の神髄を披露した。八角相撲協会理事長を始め協会役員が両宮特別参拝ののち内宮神楽殿でお神楽を奉納。その後、内宮神苑にて横綱 照ノ富士の土俵入りと、三役力士による揃い踏み奉納し、神宮相撲場ではトーナメント戦等を行った。(3月31日)

内宮神苑手数入り 約700名、神宮相撲場 約2,500名

幕内トーナメント優勝者 こと わか まさひろ 琴ノ若 傑太
準優勝者 うら かずき 宇良 和輝

2. 児童及び青少年の健全育成

① **第 14 回伊勢と神宮 伝統文化体験教室**

全国の小学生とその保護者を対象に、神都伊勢の中で育まれた伝統文化を学び、培われた歴史や文化を尊ぶ健全な心の育成を目的とした体験型教室を開催した。神宮の神事でも行われる火鑽具による火起こしや、伝統的な織物で和タペストリーの工作体験を行った。

(8月10・11日 定員15組) 2組・5名 〈4年度2組・4名〉
非会員も参加可

② 第61回伊勢神宮奉納全日本学生弓道大会

全日本学生弓道連盟・神宮司庁・三重県弓道連盟との共催で、第71回全日本学生弓道王座決定戦・第69回東西学生弓道選抜対抗試合・第47回全日本学生弓道女子王座決定戦・第47回女子東西学生弓道選抜対抗試合を開催した。

大会期間（11月23日～26日）

3. 会員組織の拡充と展開

崇敬会会員の現状

年度	賛助会員	正会員	会 員	合 計	維持会員
5年度	6,384名	7,948名	4,116名	18,448名	団体307件・個人26件
4年度	6,627名	7,871名	4,147名	18,645名	団体310件・個人24件

① 入会促進

日本人の大きな精神的支柱である伊勢の神宮を多方面から紹介し、受け継がれてきた神を敬い日本を愛する心の涵養に努める。遷宮を次世代へと繋ぐ「懸け橋」として、祭典案内等の様々な施策を講じ、会員の拡充を図った。また、神宮125社を広く伝える特設ページ「日本人の心のふるさと～お伊勢さんを歩こう～」など、ホームページを活用し、神宮はもとより伊勢の魅力や歴史を継続発信した。

今期目標 個人会員 20,000 名（賛助会員 7,000 名・正会員 8,000 名・会員 5,000 名）

維持会員 500 件（団体 400 件・個人 100 件）

都道府県	賛助会員	正会員	会 員	合計	都道府県	賛助会員	正会員	会 員	合計
東京都	846	1,687	839	3,372	京都府	164	160	39	363
神奈川県	463	415	167	1,045	大阪府	461	527	148	1,136
埼玉県	244	259	99	602	兵庫県	208	267	95	570
群馬県	85	82	43	210	奈良県	56	71	20	147
千葉県	371	207	81	659	滋賀県	82	70	15	167
茨城県	76	53	36	165	和歌山県	44	45	15	104
栃木県	66	44	62	172	鳥取県	21	43	14	78
山梨県	46	94	40	180	島根県	37	37	42	116
北海道	241	271	152	664	岡山県	88	116	64	268
宮城県	60	60	47	167	広島県	87	74	39	200
福島県	66	139	17	222	山口県	73	69	28	170
岩手県	21	28	39	88	徳島県	46	70	6	122
青森県	67	29	19	115	香川県	65	58	18	141
山形県	41	32	10	83	愛媛県	43	24	33	100
秋田県	21	42	8	71	高知県	94	63	13	170
三重県	300	331	57	688	長崎県	25	272	7	304
愛知県	487	516	318	1,321	福岡県	267	307	245	819
静岡県	239	202	598	1,039	大分県	45	52	14	111
岐阜県	129	168	46	343	佐賀県	51	64	269	384
長野県	119	406	78	603	熊本県	56	88	23	167
新潟県	82	105	103	290	宮崎県	15	16	5	36
福井県	37	42	10	89	鹿児島県	34	30	16	80
石川県	78	68	20	166	沖縄県	14	20	23	57
富山県	121	124	36	281	海 外	2	1	0	3
					合 計	6,384	7,948	4,116	18,448

② 第28回会員研修会

年2回、同内容で開催した。初日は玉串奉奠の実技講習、内宮古殿地清掃奉仕の後、講話「倭姫命について」(講師 皇學館大学名誉教授 岡田 登 氏)、内宮夜間参拝を行った。二日目は外宮特別参拝、内宮特別参拝・御神楽奉納を行い、神宮崇敬心の涵養に努めた。

春(5月14・15日 定員40名) 35名〈4年度35名〉

秋(10月9・10日 定員50名) 28名〈4年度29名〉

非会員は参加不可

4. 宿泊、研修施設等の運営

① 神宮会館の運営

お伊勢まいりの宿として、早朝参拝案内をはじめ参宮促進及び御神徳宣揚に努め、伊勢の神宮が伝えてきた文化及び芸術の魅力をより多くの方に知っていただけるよう努めた。

宿泊利用者 28,879 名 (1日平均 78.90 名・部屋稼働率 54.61%)

※令和4年度 25,011 名 (1日平均 68.52 名・部屋稼働率 50.22%)

月度	大人	学生小人	宿泊合計	月度	大人	学生小人	宿泊合計
4	1,925	34	1,959	10	2,128	254	2,382
5	1,998	61	2,059	11	1,926	809	2,735
6	2,012	25	2,037	12	1,980	342	2,322
7	1,569	2,334	3,903	1	2,137	109	2,246
8	1,938	990	2,928	2	1,946	289	2,235
9	2,007	23	2,030	3	1,640	403	2,043
				合計	23,206	5,673	28,879

ア) 第23回八朔まいりとお水汲み

伊勢では八朔の日(8月1日)に五十鈴川の水を汲んで瀧祭神に参拝し、その水を神棚に供えて1年の家内安全・無病息災を祈る風習があり、その体験を行った。

(7月31日・8月1日 定員50名) 37名〈4年度50名〉

非会員も参加可

イ) 第24回冬至まいりと注連縄作り体験

宇治橋大鳥居正面から昇る朝日を望み内宮にて特別参拝を行い、自然に対する感謝と畏敬の念を深めた。また、伊勢では年中玄閏に注連縄を飾り無病息災を願う風習にならい伊勢特有の注連縄作りを体験し、新年にむけて家内平安への思いを込めた。

(12月21・22日 定員75名) 63名〈4年度39名〉

非会員も参加可

ウ) 厄年まいり

厄年という人生の節目に際して、節分という「鬼を払い福を招く」季節にあわせて神宮に参拝し、様々な厄を祓い、厄年およびそれ以降の人生の安寧を祈るお神楽を奉納し、厄除けの御守をいただいた。

(2月4・5日 定員20名) 21名〈4年度10名〉

非会員も参加可

エ) 還暦まいり

還暦という人生の節目に際して、立春という四季の始まりの季節にあわせて神宮に参拝し、それまでの神恩への感謝とこれからの人生へのご加護を祈るお神楽を奉納し、身体健全の御守をいただいた。

(2月6・7日 定員40名) 35名〈4年度18名〉

非会員も参加可。

(オ) 第33回お伊勢さん正宮・別宮まいり

その年の豊穰を祈る神宮の祈年祭に合わせて、内宮・外宮の両正宮と全別宮を1泊2日で巡拝し、別宮の祭典奉拝や神宮の文化施設徴古館見学も行った。

(2月17・18日 定員30名) 22名〈4年度21名〉

非会員も参加可

5. 会報、図書その他印刷物の編纂と刊行

① 会報誌『みもすそ』

皇室・神宮に関する記事、伊勢志摩の歴史・文化の話題や本会行事などの情報発信源の主力媒体として編集し、全会員に配布。創刊から今年度1月で109号発行となった。

4月(106号)は「倭姫命(中)神宮永世の礎」、7月(107号)は「倭姫命(下)御偉業を称えて」、10月(108号)は「神嘗祭」、1月(109号)は「伊勢神宮崇敬会設立七十周年を迎えて」を特集した。(年4回発行)

② 叢書

各界の神道有識者に依頼し御神徳の宣揚、神社神道の昂揚を図るための叢書を7月1日刊行した。

叢書27『倭姫命を仰ぐー倭姫宮御鎮座百年を迎えてー』

皇學館大学文学部教授 松本 丘氏

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

① 昼食の利用促進

神社関係者を中心に働きかけ、お神楽奉奏の団体には直会饗膳も提案した。

利用者24,553名(平均67.0名/日)、令和4年度17,712名(平均48.5名/日)

② 物品、記念品の販売

会館利用者並びに崇敬会会員へ記念品や特産品の販売、木製品等の参宮記念品の謹製・頒布を行った。特に神宮大麻が全国のご家庭でより多くおまつりいただけるよう現代の生活空間に合った神棚を提案した。また神社本庁発行の形で運用されてきたカレンダーを「伊勢の神宮 ISE-JINGU KOYOMI」として神宮監修のもと発行し送付した。

③ 研修施設及び神宮相撲場の利用促進

講堂(大ホール・会議室)及び神宮相撲場の利用促進を図った。

④ 神宮参拝者駐車場の運営

内宮前の渋滞緩和の一助として、神宮会館横に隣接する立体駐車場を運営した。

年度	乗用車	バス	合計	有料乗用車	有料バス	有料合計
5年度	160,516台	810台	161,326台	140,008台	15台	140,023台
4年度	172,434台	593台	173,027台	153,045台	6台	153,051台

⑤ コインロッカーの運営

宇治橋前にコインロッカーを設置し、内宮参拝者の便宜を図った。

⑥ 太陽光発電事業の運営

我が国のエネルギー政策であるCO₂排出削減や再生可能エネルギー導入拡大への協力を行い地球環境保護に貢献するとともに、神宮会館経営の一助とした。

⑦ 神社関係者大会等に出向

各地で開催される神社関係者大会等に出向き、本会の広報を行った。(8月広島県神社庁関係者大会、10月埼玉県神社庁企画展事業、3月静岡県神社庁関係者大会)

⑧ スポーツ及び文化活動への助成

行政を含めた協賛・後援依頼団体の行事及び事業の助成をした。

⑨ 参宮案内所における案内

神宮の参宮案内所(宇治橋前)に職員を派遣し、神宮に関する案内を行った。

7. 施設の改善

① 神宮司庁に依頼して施工された施設改修及び修繕

本館前松の木消毒・敷地内の樹木消毒

② 本会にて実施した施設改修及び修繕

【本館・西館】

エレベーターバッテリー交換・客室の畳取替(本館)・給湯配管バルブ2箇所取替(西館)・ラウンジ柱ボード補修・本館厨房照明LED化・シャワーブース水栓金具改修(男女浴場)・浴槽ジェットポンプ取替(男子浴室)・壁タイル貼替(女子浴室)

【講堂棟】

空調室外機1・2号機修理・ガラス扉のフロアヒンジ取替・オーバードロー配管閉止

【立体駐車場】

エレベーター改修・3階12区域火災報知機防水型に取替・上り坂の外灯LED化

【その他】

相撲場防鳩ネット鎖取替・ばら園門扉取替・防犯カメラ44台機種変更

8. 役員員数

理事14名、監事1名、評議員15名、職員 渡邊事務局長 他43名

9. 会 議

1. 監事会	5月12日(神宮会館会議室)	令和4年度業務及び会計監査
2. 運営委員会	5月15日(神宮会館会議室)	令和4年度事業報告・決算 他
3. 第11回定時評議員会	5月17日(神宮会館会議室)	令和4年度事業報告・決算 他
4. 第25・26回理事会	5月17日(神宮会館会議室)	令和4年度事業報告・決算 他
5. 代議員会	6月29日(神宮会館大講堂)	令和4年度事業報告・決算 他
6. 運営委員会	9月9日(神宮会館会議室)	令和5年度事業報告(中間) 他
7. 事務局長会	9月17日(神宮会館会議室)	事業報告・計画 他
8. 運営委員会	3月9日(神宮会館会議室)	令和6年度事業計画・予算 他
9. 臨時評議員会	3月27日(神宮会館会議室)	令和6年度事業計画・予算 他
10. 第27回理事会	3月27日(神宮会館会議室)	令和6年度事業計画・予算 他

以 上